

「一般国道46号熊堂交差点において、歩行者と自転車 の通行を区分する方法について社会実験を実施します」

近年、自転車は環境負荷の低い交通手段として見直され、健康志向の高まり等を背景に、その利用ニーズが高まっています。その一方で、自転車の交通事故は増加し、特に歩行者と自転車の接触事故が急増しています。

自転車・歩行者の安全性を向上するためには、現在の利用環境の問題点を明らかにし、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる道路空間の整備が必要となっています。

岩手河川国道事務所では、一般国道46号盛岡西バイパスの熊堂交差点において、歩行者と自転車の通行を分離する方法についての社会実験を実施しますので、下記のとおりお知らせします。

皆様のご協力をお願いいたします。

記

1. 実施期間：平成21年10月29日（木）～11月15日（日）
2. 実施箇所：一般国道46号（盛岡西バイパス）熊堂交差点
3. 実施内容：①路面標示（自転車の通行誘導線）
②アンケート調査
③誘導案内看板の設置（設置済です）

※ 詳細については、別紙をご覧ください。

〈発表記者会〉：岩手県政記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2 TEL:019-624-3196(調査第二課 直通)
調査第二課長 藤田 公典

交差点部において歩行者と自転車の 通行を区分する社会実験を行います

【目的】

健康でエコな乗り物として利用する人が増えている自転車、自転車のかかわる事故も年々増加しています。

国土交通省では、歩行者と自転車が安全に安心して通行できる道路空間の確保を目指した取り組みを行っています。

実験を行う交差点では、歩行者と自転車の通行を区分する路面表示などを行い、信号待ち歩行者の安全性の確保や自転車通行の円滑化等の効果を把握する調査を行います。

【実験期間】

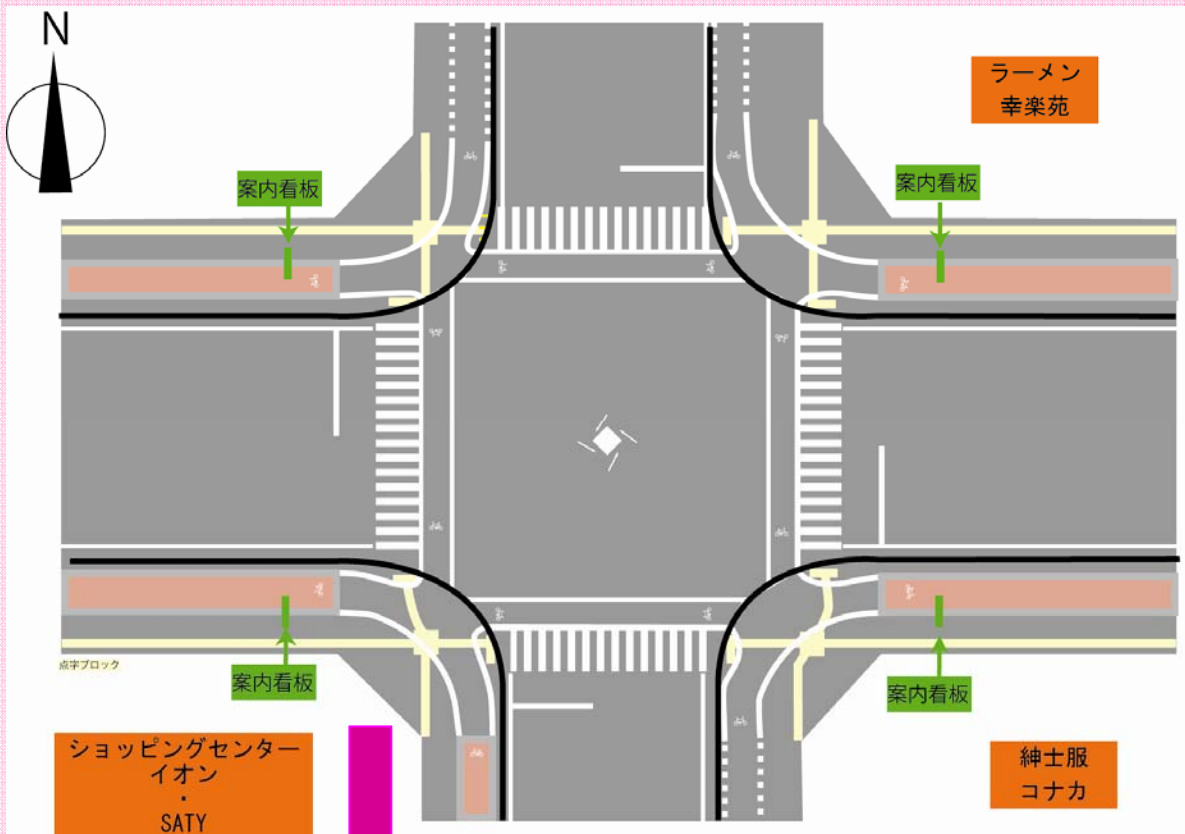
平成21年10月29日（木）～平成21年11月15日（日）

【実験箇所】

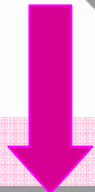
国道46号盛岡西バイパス 熊堂交差点



【自転車・歩行者の区分イメージ図】



案内看板



拡大図



社会実験の内容

- ①自転車と歩行者の通行を区分する誘導線の表示
- ②効果把握のためのアンケート調査
- ③自転車と歩行者の通行を区分する案内看板の設置

〈自転車利用者へのおお願い〉

・誘導線に囲まれた部分は、自転車専用の道ではありません。交差点内は、歩行者に注意して通行願います。